

## 嵐の中の力 Strength in the Storm

---

夫の言葉が私の心に慰めをもたらしました。「大丈夫だよ。神さまは僕のそばにいる。主は僕の癒し主だ。元気になるよ。」

夫は前の日に、危険な、命にかかわる状態で入院し、数日間は病院にいなければなりませんでしたが、その日の午後、私は病室に夫を置いていきたくありませんでしたが、陸上では風速 60-70m/s の嵐となるというハリケーン・ハーベイが、私たちの家の近くに上陸するという予報が出ていたのです。病院は封鎖され、入院患者以外は留まることができませんでした。夫は、家に帰って、できる限りのことをして、信仰をもって休むようにと励ましました。私は、必要なことは全部やるから大丈夫、と言いましたが、夫は私を助けることができないので、ひどく心配していました。

私はほとんど眠っていませんでしたし、すべきことを頭の中で一つひとつ思い返して頭が破裂しそうでしたが、力が自分の中に湧き上がってくるのを感じました。私は静かに、この状況に当てはまる御言葉を全て思い起こしていました。

風が明らかに強くなったので、私は空っぽの駐車場を歩く足を速めました。立っているところから高速道路が見え、南行きのレーンは、嵐が来る前に避難しようとする車で一杯でした。

最近買ったばかりの車に近づいたとき、私は凍りつきました。言葉を無くし、涙が滝のように顔に流れました。車の輝く塗装はえぐられ、ドアがへこんでいました。「うそでしょ。うそでしょ。」としか私は言えず、雨がたたきつけるように降り注ぐ中、私はどうにかこうにかドアを開けたのでした。

家に向かって走る間に、私のさっきの力は消え去っていました。私は弱く、恐れていました。泣きながら、安全と守りを求め、夫の命が助かるように神に懇願しました。家の車庫に入るころには、マスカラは顔に流れ、祈りの一言を言うたびにすすり泣き、しゃくりあげるありさまでした。

裏口にたどり着く直前に、私は聖霊の臨在を強く感じました。自分を抑えて静まろうとしました。何度か深呼吸をした後、私は尋ねました。「神さま、誰ですか？この状況の中で、あなたは私にとって何者になりたいと思っておられるのですか？私は聴いています。」風は木の太枝を吹きあおり、どんどん暗くなっていましたが、私は静かに立ち、御臨在の内に憩いました。

私は光とエネルギーを感じて、ようやく家の中に入ろうとしました。聖霊が私を再び捕えました。主が、「行って、嵐に語りなさい。」と私の霊に語られたように思いました。すでに、突風は時速 110 キロを超え、すっかり暗くなっていましたが、私は前庭に出て、嵐に向かって語りました。嵐に、静まるよう命じました。

風はまだ吹いていましたが、家に入る時だと思いました。振り返ると、前庭にそびえたっている古木が倒れそうになっているのが目に入りました。私は木を指さしました。「そして、木よ、立ち続けよ。その根でしっかりと支え、動かずにいなさい。」

その晩、嵐は予報を外れて、ほんの少し北へ方向を変え、そのおかげで洪水からも最悪の風からも守られたのです。そしてその晩、病院では、夫の体には、治療が医師の期待した以上の効果を表したのです。その晩、私たちの車に起こったことは、働いておられる神の御計画の中では小さいことになりました。いつも、主が働いておられるもっと大きな御計画があるのです。

恐れによって祈るとき、私たちは神の御計画と目的に一致することができません。私たちのアイデンティティではなく、感情と一致して祈るとき、聖霊がぜひしたいと願われていることとパートナーを組むことができないのです。

私たち自身が何者であるか分かっているなら、私たちの周りの状況は私たちに害を与えることはできません。悪い状況は、私たちがもっと主のようになるように用いられるのです。

ヨハネ 14:11-20 わたしが父におり、父がわたしにおられるとわたしが言うのを信じなさい。さもなければ、わざによって信じなさい。まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしを信じる者は、わたしの行なうわざを行ない、またそれよりもさらに大きなわざを行ないます。わたしが父のもとに行くからです。またわたしは、あなたがたがわたしの名によって求めることは何でも、それをしましょう。父が子によって栄光をお受けになるためです。あなたがたが、わたしの名によって何かをわたしに求めるなら、わたしはそれをしましょう。もしあなたがたがわたしを愛するなら、あなたがたはわたしの戒めを守るはずです。わたしは父にお願いします。そうすれば、父はもうひとりの助け主をあなたがたにお与えになります。その助け主がいつまでもあなたがたと、ともにおられるためにです。その方は、真理の御霊です。世はその方を受け入れることができません。世はその方を見もせず、知りもしないからです。しかし、あなたがたはその方を知っています。その方はあなたがたとともに住み、あなたがたのうちにおられるからです。わたしは、あなたがたを捨てて孤児にはしません。わたしは、あなたがたのところに戻って来るのです。いましばらくで世はもうわたしを見なくなります。しかし、あなたがたはわたしを見ます。わたしが生きるので、あなたがたも生きるからです。その日には、わたしが父におり、あなたがたがわたしにおり、わたしがあなたがたにおることが、あなたがたにわかります。

## 実践的な適応

グラハム・クックは、私たちに与えられた預言の言葉と相続の御言葉は、神にとってリアルなように私たちにとってもリアルになるべきだ、と言いました。主は、世界の基を置かれる前に、私たちの未来を計画されました。主は私たちの預言の言葉を語られました。私たちに相続の御言葉を与えられました。そして、主がひとたび何かを動かし始められると、それは無効になったり、実らせるべきものを実らせなかったりということがありません。あなたは真に、天がこのような者だ、と言われる者なのです。それを身につけましょう。ヨセフの色とりどりの長服のように、それを着るのです。

1. あなたは自分のアイデンティティの声明を持ち、天で自分がどのように知られているかが以前より明らかになるたびに、アップグレードさせていますか。
2. もしアイデンティティの声明を持っていないなら、グループで時間を取って、一人ずつの声明を書いたり、アップグレードしたりしましょう。
3. 先月を振り返り、個人的に迫られたチャレンジがあれば書き出しましょう。
4. それぞれのチャレンジの隣に、あなたの応答について、考えたことを書いてみましょう。不安ですか？恐れですか？ストレスですか？逃げ隠れしたいですか？やけ食いですか？正直になりましょう。
5. あなたの応答が良いものでも悪いものでも、天の父は一切とがめられることはありません。主は世界の基が据えられる前から、あなたが何者になるかを決めておられたのです。主はあなたを創造し、主御自身をよく映し出すように形づくられたのです。主はあなたを未来から見ておられます。あなたがなっていく人として、見ておられるからです。主は本当のあなたを知っていて、今日の行動や応答によって動かされることはありません。
6. ここで、先月のチャレンジに関して書き出した応答を見直してみましょう。応答を再構成する時間を取ります。「再考する」チャンスです。旅路に力を与える、チャレンジに対する『ゲーム・チェンジャー』の応答はどんなものだったでしょうか？
7. 私たちは皆、主が私たちのために備えられた御旨に足りない者です。幸いなことに、主は私たちを取り扱おうという御意志をお持ちで、次は違った応答ができるように、あなたに同じようなチャレンジを持ってこられます。聖霊にお願いして、将来のテストのために助けていただきましょう。
8. グループで、あなたのチャレンジ、応答、そしてより良い応答をシェアしましょう。